

## 山行記録

## 京都・比叡山

年月日	2021年11月15日
天気	晴れ
集合場所・時間	JR 芦屋 7:50
参加人数	15名
歩行時間・距離	5時間15分、10.3km
費用	2,680円

## コースタイム

JR 芦屋(新快速) 7:55⇒比叡山坂本駅 9:00 比叡山坂本駅 9:10～日吉大社 9:35/9:45(体操)～本坂～法然堂 11:10/11:15～万拝堂 11:35/11:50～延暦寺大講堂(昼食) 12:00/12:30～阿弥陀堂～大比叡山(848m) 13:10～ケーブル延暦寺駅 13:50/14:00(4名ケーブルで下山)～裳立山キャンプ場～日吉神社(解散) 15:35～比叡山坂本駅

## 感想

秋晴れの下、比叡山坂本駅に降り立った14名は紅葉を期待しつついざ出発。日吉神社までなだらかな坂道では歴史を感じさせられ、石垣や手入れされた木々、寺や家々、お蕎麦屋さん等キョロキョロ。現在の町並みは焼討後の復興したもので、以前の姿を反映しているかどうかわからず残念。石垣だけは穴太衆のおかげで焼け残り、頑丈すぎて壊すこともできず残っているらしい。

日吉大社で体操後、長い階段をあがっていく。日吉大社は約2100年前創祀の古くからある鎮守神で、方除け、厄除けのご利益あるとのこと。ここから本坂をひたすら登り続けること90分余り。崩れた階段あり、浮石あり、根っこ道ありで、休憩しながら登っていく。木漏れ日が射し込み暑いくらい。色づいた木々に光があたって目を癒してくれる。途中、耳のある亀の上に石碑がある亀堂、延暦寺会館を過ぎる。道から少し下ったところにある法然堂は法然上人剃髪会得の場所で静かな佇まい。普段は僧侶がおられるようだ。文殊楼を過ぎ、万拝堂の前で1名と合流。大講堂前の長いベンチで小春日和の日差しを背にランチ。現在の大講堂は徳川家光の命で1934年建立された旧東照宮本地堂を1964年に移築したものとある。開運の鐘をついたり大講堂を見たりして充電し大比叡をめざし出発。阿弥陀堂を抜け、階段、急坂を登り山頂へ。木々に囲まれた場所に848mの頂上はあった。以前は東に琵琶湖西に京都市街が一望、一等三角点の字も見えていたようだ。

帰路は山頂からどんどん山道を下る。比叡山ドライブインを渡り西尊院堂を過ぎるとケーブル延暦寺駅。ケーブルで下山の4名とお別れ。ケーブル藻立山駅を過ぎ、登り同様の根っこ石と格闘しながら滑りそうな道を冷や汗をかきながら下り続ける。ふもとに近いところに日光東照宮のモデルらしい日吉東照宮があった。週末のみ拝観可能のようだ。街並みや比叡山高校のグラウンドが見えると安堵のため息がでた。道中、いくつかの見晴らしの良い場所や高台に苔むした大きなお墓がたたずんでいた。長い時間を通して国内外の多くの人々の信仰や思いが濃厚なこの地は厳かな空気が満ちているのかもしれない。

日吉大社で解散し、即電車組とゆっくり組、もっと散策組に分かれた。

皆さま、お疲れさまでした。そしてありがとうございました。そして個人的には楽しい時間を再認識いたしました。